

## ポイント

### “おもしろい” で未来を拓く

### 段ボールが秘める無限の可能性に挑戦

- 商圏半径 100 キロ以内といわれる段ボール梱包材の常識を一変。独創的なアイデアで全国や世界に向けた商品発信が可能に
- 2016 年 1 月、「メゾン・エ・オブジェ・パリ」に初出展。欧州での「PUSUPUSU (プスプス)」販売が開始
- 量産体制の整備

#### 企業基本情報

所在地	香川県東かがわ市湊 1860-1
電話 / FAX	0879-23-0055/0879-23-0056
U R L	http://www.hacomo.com/
代表者	代表取締役社長 岡村 剛一郎
設立	2010 年
資本金	1,000 万円
従業員数	10 人



#### 会社概要

2010 年、親会社にあたる富士ダンボール工業株式会社から分社化。段ボール製の工作キットや家具の製造・販売を手がける。段ボールのできた遊具を使った工作教室などのイベントも年 10 回以上開催するなど、独創的な商品開発を続けている。2015 年度にはフランスの見本市への出展を果たし、世界を視野に入れた製品開発や販売戦略を進めている。



応接室

#### 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

##### ▶▶▶ 段ボール梱包の商圏の常識を一変。独創的なアイデアで国内外へ商品を発信

親会社である富士ダンボール工業株式会社は、製薬や電池産業向けの BtoB 向けのパッケージや包装を手がけているが、通常、段ボール梱包材は地場産業といわれ、商圏は半径 100 キロ以内に限定されている。

2010 年に分社化された同社は、それまで企業間での取引が中心だった段ボール梱包材の常識を一変。動物や乗り物、遊具など面白商品を生み出すことで個人ユーザーにまで販売先を拡大。これまで限られていた商圏の壁も破り、国内外に向けた商品の発信を可能にした。



ダンボール遊園地

##### ▶▶▶ 2016 年 1 月「メゾン・エ・オブジェ・パリ」に初出展。欧州販売が開始

2015 年に国内外市場をターゲットとした「PUSUPUSU」を開発し商品化。PUSUPUSU は穴の開いた縦横 8cm の台の上に小さな段ボール製のパーツを差込むことで、立体的な建物や情景を組み立てる工作キット。

2016 年 1 月、世界最高峰のインテリア・デザイン総合見本市である「メゾン・エ・オブジェ・パリ」に PUSUPUSU シリーズを初出展。ヨーロッパの有名建造物をモデルとした商品は現地でも人気が高く、出展を機に、フランスを初めヨーロッパ各国での販売が開始。



PUSUPUSU

##### ▶▶▶ 「おもしろく」商品開発に取り組む

ノベルティー商品などは顧客の依頼によって開発するが、親会社の富士ダンボール工業株式会社の社である「“おもしろい” で未来を拓く」に則り、デザイン・設計担当 3 名を中心に、「おもしろく」取り組んでいる。また、2016 年にはレーザー加工機を増設し現在 5 台で量産体制を整備している。受注から在庫管理まで一貫して管理できる同社専用の web システムを構築し業務の効率化に取り組んでいる。



レーザー加工